

# 床下浸水で起きた調湿材の変色について

平成29年7月に7年目の床下点検を行った。  
その際、調湿材に変化が有りました。

調湿材KMKを施工して7年目、床下点検に行ってみると  
調湿材が散らばり、施行した時点と異なりKMKの色にも  
変化が見られ、変色していました。



家の人に事情を聞いても、分からないとの事でしたので、サンプルを採取し研究機関に出すことにしました。

平成29年9月6日に、日本食品機能分析研究所に依頼し9月13日に分析結果が出ました。

調湿材の黒い色の原因は、酸化鉄(錆び)でした。  
カビや細菌の繁殖痕は見られないと言う結果でした。

その結果を踏まえて、再度訪問し調査

住宅は鉄骨造りで、水漏れが有ったことが判明しました。  
結果、水漏れが原因で水が鉄骨にかかり錆びが発生  
それが水と一緒に流れ、調湿材に付着し色に変色したことが判明しました。

## KMKの効果

長い時間水に浸食されても、調湿材KMKは抗菌効果が持続しており、7年間経過しても菌やカビの繁殖を抑えることが実証されました。

## 住宅に起きる水害



大雨で起きる床下浸水



雨水が浸水した床下



水漏れによる、床下の浸水状況